

# ペルサハーン・ガス・ネガラ(PGAS)

## 国営石油会社プルタミナの傘下入り、ガス事業の集約で投資余力拡大に期待したい

インドネシア | 公益施設網 | 決算フォロー

BLOOMBERG PGAS IJ | REUTERS PGAS.JK

- 2017/12 期 3Q (1-9 月) は、売上高が前年同期比 0.4% 増の 21.65 億 USD、営業利益が同 32.0% 減の 2.68 億 USD、純利益が同 59.5% 減の 0.98 億 USD と増収減益とになった。
- 天然ガスは平均販売価格、販売数量ともに低下。探索・開発部門は採掘量が増加し大幅増収。
- インドネシア国営石油プルタミナの傘下に入ることが決定。両社のガス事業を集約することで投資余力を拡大させる狙い。

### What is the news?

2017/12 期 3Q (1-9 月) は、売上高が前年同期比 0.4% 増の 21.65 億 USD、営業利益が同 32.0% 減の 2.68 億 USD、純利益が同 59.5% 減の 0.98 億 USD と増収減益とになった。主力のガス配給部門では、平均天然ガスの販売価格は、百万立方フィートあたり 8.56USD と前年同期の 8.69USD から低下。天然ガス価格が他のエネルギー価格と比較しても依然として低迷していることに加え、同社がマーケットシェアの維持のために大口顧客に対し特別価格を提示したことも販売価格の低下要因となった。天然ガスの供給量は同 3% 減の 7.67 億立方フィート。2Q に発電所や産業用プラントのガス消費量が減少したことが響いた。一方、探索・開発部門は採掘量が増加し大幅増収し、全体の増収に寄与した。石油・ガスの採掘量は同 33% 増の 36,905 石油換算バレルであった。しかし費用が高んだことで赤字幅が拡大。同部門は利益面では押し下げ要因となった。

事業部門別の業績は以下の通り。ガス配給部門は、売上高が前年同期比 4.9% 減の 17.92 億 USD、セグメント利益が同 21.5% 減の 5.14 億 USD。ガス輸送部門は、売上高が前年同期比 58.3% 減の 2.45 百万 USD、セグメント利益が▲48.16 百万 USD と前年同期の▲43.01 百万 USD から赤字幅拡大。探索・開発部門は、売上高が同 51.2% 増の 3.16 億 USD、セグメント利益が▲33.05 百万 USD と前年同期の▲1 百万 USD から赤字幅が拡大。その他事業部門は、売上高が同 3.1% 減の 53.00 百万 USD、セグメント利益が▲99.28 百万 USD と前年同期の▲1.47 億 USD と赤字幅が縮小。

### How do we view this?

2017/12 通期の市場予想は売上高が前年同期比 1.3% 減の 28.96 億 USD、当期利益が同 40.8% 増の 1.80 億 USD である。同社は、インドネシアの国営石油会社プルタミナの傘下に入ることとなった。インドネシア政府が保有する同社株式をプルタミナに移管する。政府は石油の生産量が減少する中、ガスの国内消費を推進しており、両社のガス事業を集約することで投資余力を拡大させる狙いだ。競争環境の改善も期待される。株式の移管後も、同社は上場を維持する見通しだ。

### 業績推移

※参考レート 1IDR=0.007839円、1USD=13,679IDR

事業年度	2014/12	2015/12	2016/12	2017/12F	2018/12
売上高(百万USD)	3,253	3,068	2,934	2,896	3,090
当期利益(百万USD)	711	401	304	180	266
EPS(USD)	0.03	0.02	0.01	0.01	0.01
PER(倍)	6.29	9.43	18.86	18.86	18.86
BPS(USD)	0.12	0.12	0.13	0.13	0.14
PBR(倍)	1.57	1.57	1.45	1.45	1.35
配当(USD)	0.01	0.01	0.01	0.01	-
配当利回り(%)	5.30	5.30	5.30	5.30	-

(※) データは直近値、FはBloomberg集計による市場予想

配当予想 (IDR) **0.01** (予想はBloomberg)  
 終値 (IDR) **2,580** 2018/2/27

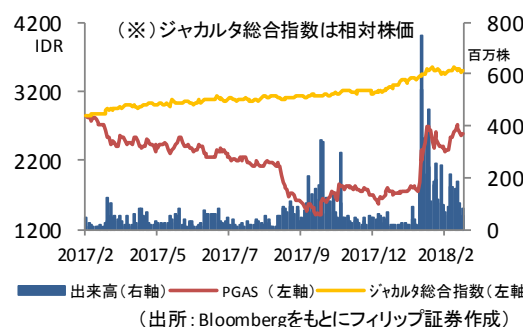
### 会社概要

インドネシアで最大のシェアを持つ天然ガス会社。設立は1965年だが、植民地時代からの1世紀半の歴史を有する。サプライヤーから調達した天然ガスを、発電所、産業プラント、商業施設、一般家庭向けに配給・輸送している。同社のガスパイプラインは総延長7,390キロメートルのほり、国土の78%を網羅している。

同社事業は、主力の顧客へガスを配給するガス配給部門、パイプラインを他社に貸与しシンガポール等にガスを供給するガス輸送部門、ガスや石油の探索・開発を担う探索・開発部門、液化天然ガスの処理や光ファイバーのレンタル、建設・保守サービス、建物・設備のリースや管理を行うその他事業部門の4つの事業セグメントで構成される。

### 企業データ (2018/2/28)

ベータ値	1.54
時価総額(十億IDR)	62,785
企業価値=EV(十億IDR)	81,440
3か月平均売買代金(十億IDR)	272



### 主要株主 (2018/2)

1. Republic of Indonesia	59.96
2. Blackrock	2.85
3. Matthews Intl Capital Management	1.90

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

### 増淵 透吾

togo.masubuchi@phillip.co.jp  
 +81 3 3666 0707

### 庵原 浩樹

hiroki.ihara@phillip.co.jp  
 +81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵 透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。